**患者向医薬品ガイド**

2015年3月更新

# バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」

## 【この薬は？】

| | |
|---|---|
| 販売名 | バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」<br>Vancomycin Hydrochloride for i.v. infusion 0.5g「SAWAI」 |
| 一般名 | バンコマイシン塩酸塩<br>Vancomycin Hydrochloride |
| 含有量<br>（1バイアル中） | 0.5g（力価） |

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」http://www.info.pmda.go.jp/ に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

・この薬は、グリコペプチド系抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
・この薬は、細菌の細胞壁の合成を阻害することにより、殺菌的な抗菌作用を示します。
・次の病気と診断された人に、医療機関で使用されます。

**1．〈適応症〉**
**敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、腹膜炎、化膿性髄膜炎**
**〈適応菌種〉**
**バンコマイシンに感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）**

**２．〈適応症〉**
**敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎**
**〈適応菌種〉**
**バンコマイシンに感性のメチシリン耐性コアグラーゼ陰性ブドウ球菌（MRCNS）**
**３．〈適応症〉**
**敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎**
**〈適応菌種〉**
**バンコマイシンに感性のペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）**
**４．MRSA 又は MRCNS 感染が疑われる発熱性好中球減少症**

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇次の人は、この薬を使用することはできません。
・過去にバンコマイシン塩酸塩点滴静注用「サワイ」に含まれる成分でショックを経験したことがある人

〇次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
・過去にバンコマイシン塩酸塩点滴静注用「サワイ」に含まれる成分やテイコプラニン、ペプチド系抗生物質、アミノグリコシド系抗生物質で過敏な反応を経験したことがある人
・難聴の人

〇次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・腎臓に障害のある人
・肝臓に障害のある人
・高齢の人
・低出生体重児、新生児

〇過去に抗生物質などでアレルギーを起こしたことのある人は、必ず医師または薬剤師に伝えてください。

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

**●使用量および回数**

使用量、使用回数などは、あなたの年齢、体重、症状などにあわせて医師が決めます。
通常、使用量および回数などは次のとおりです。
いずれの場合も、６０分以上かけて点滴で静脈内に注射します。

［成人］

| 1回量<br>(バンコマイシン塩酸塩として) | 使用間隔 |
|---|---|
| 0.5g | 6時間ごと |
| 1g | １２時間ごと |

［高齢の人］

| 1回量<br>(バンコマイシン塩酸塩として) | 使用間隔 |
|---|---|
| 0.5g | １２時間ごと |
| 1g | ２４時間ごと |

［小児、乳児］

| 1日量<br>(バンコマイシン塩酸塩として) | 使用回数 |
|---|---|
| 体重1kgあたり 40mg | １日２～４回に分けます。 |

［新生児］

| 1回量<br>(バンコマイシン塩酸塩として) | 使用間隔 |
|---|---|
| 体重1kgあたり 10～15mg | 生後１週までは１２時間ごと |
| | 生後１ヵ月までは８時間ごと |

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬でショック（冷や汗、めまい、意識がうすれる、息切れ)、アナフィラキシー〔ほてり、息苦しい、動悸（どうき)、じんましん〕があらわれることがあるので、点滴開始から終了後まで、安静にしてください。異常を感じたら、医師または薬剤師に連絡してください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳中の人は、授乳を中止してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
・この薬の効果の確認と副作用の予防のため、血液中の薬の濃度が測定され使用量や使用間隔が調整されます。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|---|
| ショック | 冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下 |

| 重大な副作用 | 主な自覚症状 |
|---|---|
| アナフィラキシー | からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下 |
| 急性腎不全<br>きゅうせいじんふぜん | からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る |
| 間質性腎炎<br>かんしつせいじんえん | 関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿 |
| 汎血球減少<br>はんけっきゅうげんしょう | めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい |
| 無顆粒球症<br>むかりゅうきゅうしょう | 発熱、のどの痛み |
| 血小板減少<br>けっしょうばんげんしょう | 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい |
| 中毒性表皮壊死融解症（TEN）<br>ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン） | からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振 |
| 皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）<br>ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん） | からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み |
| 剥脱性皮膚炎<br>はくだつせいひふえん | 発熱、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる |
| 薬剤性過敏症症候群<br>やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん | さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、息苦しい、かゆみ、発疹、しびれ、判断力の低下 |
| 第8脳神経障害<br>だいはちのうしんけいしょうがい | ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴 |
| 偽膜性大腸炎<br>ぎまくせいだいちょうえん | 嘔吐（おうと）、むかむかする、腹痛、下痢、血が混ざった便 |
| 肝機能障害<br>かんきのうしょうがい | からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる |
| 黄疸<br>おうだん | 白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位 | 自覚症状 |
|---|---|
| 全身 | 冷や汗、からだがだるい、ふらつき、からだのむくみ、疲れやすい、関節の痛み、発熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、高熱、さむけ、汗がたくさん出る |

| 部位 | 自覚症状 |
|---|---|
| 頭部 | めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、頭痛 |
| 顔面 | 血の気が引く、ほてり、鼻血 |
| 眼 | 眼と口唇のまわりのはれ、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる |
| 耳 | 耳鳴り、耳が聞こえにくい、難聴 |
| 口や喉 | しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、嘔吐、吐き気 |
| 胸部 | 息切れ、息苦しい、動悸、むかむかする、吐き気 |
| 腹部 | 膨れあがる感じ、食欲不振、むかむかする、腹痛、吐き気 |
| 手・足 | 関節の痛み |
| 皮膚 | じんましん、あおあざができる、皮下出血、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる、かゆみ、皮膚が黄色くなる、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発疹 |
| 便 | 下痢、血が混ざった便 |
| 尿 | 尿がでない、尿量が減る、血尿、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる |
| その他 | 判断力の低下、出血しやすい、出血が止まりにくい、陰部の痛み、しびれ |

## 【この薬の形は？】

| 性状 | 白色の塊または粉末 |
|---|---|
| 形状 | バイアル製剤<br> |

## 【この薬に含まれているのは？】

| 有効成分 | バンコマイシン塩酸塩 |
|---|---|

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：沢井製薬株式会社（http://www.sawai.co.jp）
お客様相談室
電話番号：０１２０-３７３-３８１
受付時間：９時～１７時
（土、日、祝日、その他当社休業日を除く）